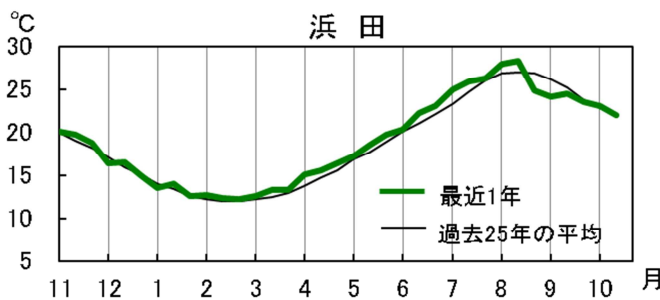




《9～10月の海況》

9月	月平均	平年差	評価
浜田	24.1℃	-1.0℃	やや低め
恵曇	23.8℃	-1.1℃	やや低め

沿岸定地水温は、浜田地区では、9月上旬は「かなり低め」、中・下旬は「平年並み」となり、10月に入り月上旬時点で「平年並み」で経過しています。恵曇地区では、9月上旬は「平年並み」、中・下旬は「やや低め」となり10月に入り月上旬時点で「平年並み」で経過しています。



《9月の漁況》

【中型まき網漁業】

浜田地区ではサバ類、マアジ主体の漁況で、1統1航海当りの漁獲量は11.6トンで平年を上回りました。魚種別の動向(総漁獲量)は、サバ類は118トンで平年の2.4倍、マアジは90トンで平年並みとなりました。隠岐地区ではカタクチイワシ、マイワシ、マアジ主体の漁況で、1統1航海当りの漁獲量は55.9トンで平年並みとなりました。魚種別の動向(総漁獲量)は、カタクチイワシは2,686トンで平年並み、マイワシは1,516トンで平年の2.2倍となりましたが、マアジは1,241トンで平年の3割程度となりました。

【イカ釣漁業】

浜田地区(属地5トン以上)ではケンサキイカ(全体の90%)とスルメイカ(全体の10%)が主体の漁況で、1隻1航海当りの漁獲量は542kgで平年を上回りました。一方、西郷地区(属人5トン以上)ではケンサキイカ(ほぼ100%)が主体の漁況で、1隻1航海当りの漁獲量は75kgで平年を下回りました。

【沖合底びき網漁業】

浜田地区ではアカムツ、アナゴ類、ムシガレイを主体に、1統1航海当たり漁獲量は10.2トンで平年並みでした。魚種別の動向(総漁獲量)は、アカムツは平年の1.8倍、アナゴ類は平年の1.4倍、ムシガレイは平年の5割の水揚げでした。その他、ケンサキイカは平年並、マダイは平年の2.6倍、アマダイは平年の3.2倍の水揚げだった一方、ヤナギムシガレイ、ソウハチ、アンコウは平年の4割の水揚げに留まりました。

【小型底びき網漁業】

大田地区(和江・久手)ではキダイ、アンコウ、ソウハチ主体の漁況で、1統1航海当たりの漁獲量は710kgで平年並みの水揚げとなりました。魚種別の動向(総漁獲量)は、キダイは平年の9割、アンコウは平年並、ソウハチは平年の1.4倍、アカムツは平年の8割でした。その他、ニギスは平年の6割、ケンサキイカは平年の4割、ヤリイカは平年の1.8倍の水揚げでした。

【定置網漁業】

出雲地区ではサワラ類、サバ類主体の漁況で、1統当りの漁獲量は24.6トンで平年上回りました。魚種別の動向(総漁獲量)は、サワラ類は平年の1.6倍、サバ類は平年の4.5倍の漁獲量でした。石見地区ではサバ類、サワラ類主体の漁況で、1統当りの漁獲量は29.2トンで平年を上回りました。魚種別の動向(総漁獲量)は、サバ類は平年の15倍、サワラ類は平年並みの漁獲量でした。隠岐地区ではブリ、マイワシ、サバ類主体の漁況で、1統当りの漁獲量は15.2トンで平年並みでした。魚種別の動向(総漁獲量)は、ブリは平年の2.9倍、マイワシは6.5倍、サバ類は平年並みの漁獲量でした。

【釣・縄】

出雲地区ではケンサキイカ、マダイが主に漁獲され、1隻1航海当りの漁獲量は26.1kgで平年を下回りました。石見地区ではケンサキイカ、ヒラマサが主に漁獲され、1隻1航海当りの漁獲量は23.0kgで平年並みでした。隠岐地区ではケンサキイカ、ソデイカ、クロマグロが主に漁獲され、1隻1航海当りの漁獲量は28.8kgで平年並みでした。

【平成 28 年 9 月の漁獲統計】

漁業種類	地区	主要魚種	総漁獲量			CPUE(1 隻(統)1 航海当り漁獲量)			漁模様
			漁獲量	前年比 %	平年比 %	漁獲量	前年比 %	平年比 %	
中型まき網	浜田	サバ類、マアジ	244 トン	134%	134%	11.6 トン	102%	127%	◎
	隠岐	カタクチイワシ、マイワシ、マアジ	7,268 トン	120%	87%	55.9 トン	119%	100%	○
イカ釣り (5トン以上)	浜田	ケンサキイカ	154 トン	99%	67%	542kg	73%	117%	○
	西郷	ケンサキイカ	9 トン	456%	31%	75kg	135%	60%	▲
沖合 底びき網	浜田	アカムツ、アナゴ類、ムシガレイ	306 トン	93%	96%	10.2 トン	81%	83%	○
小型底びき 網	大田	キダイ、アンコウ、ソウハチ	398 トン	105%	83%	710kg	107%	95%	○
定置網 (大型)	出雲	サワラ類、サバ類	320 トン	122%	138%	24.6 トン	122%	133%	◎
	石見	サバ類、サワラ類	117 トン	126%	130%	29.2 トン	126%	134%	◎
	隠岐	ブリ、マイワシ、サバ類	46 トン	147%	118%	15.2 トン	147%	118%	○
釣り・縄	出雲	ケンサキイカ、マダイ	34 トン	82%	52%	26kg	89%	72%	▲
	石見	ケンサキイカ、ヒラマサ	41 トン	115%	75%	23kg	103%	90%	○
	隠岐	ケンサキイカ、ソデイカ	35 トン	175%	60%	29kg	173%	84%	○

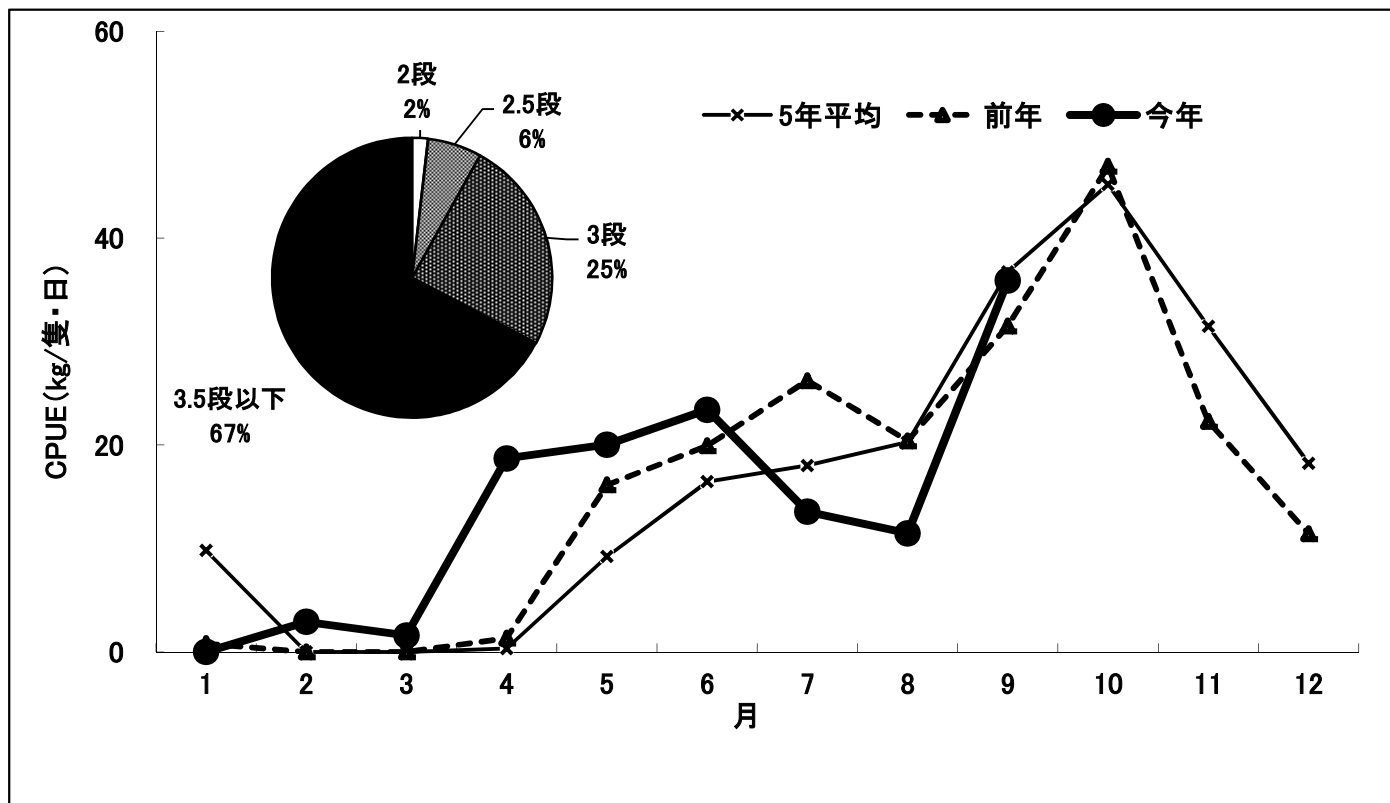
平年比：過去 5 年（沖底のみ 10 年）の平均値との比較 漁模様（CPUE）：◎が平年以上、○が平年並み、▲が平年以下
 大型定置網漁業は 1 統当り漁獲量です。

【ケンサキイカ情報】

今月号は島根県のみケンサキイカ（地方名：マイカ、シロイカ）情報を掲載いたします。

I：9月のイカ釣り漁況

浜田漁港データ（5t未満船）を利用しています。折れ線グラフはCPUE（1日の1隻当りの漁獲量 kg）、円グラフは銘柄割合を示しています。



II：10月上旬の底層水温

島根県沖の陸棚上の底層水温は、水深80～140mが10.4～19.6℃、それ以深が2.2～7.6℃でした。